

トピックス

■ 塗装設備導入

新宮三相電機の工場の一画に新たにカチオン塗装設備を導入しました。



新宮三相電機では、鋳物やアルミ部品の研削加工を行い、外部に下塗り（カチオン）塗装を依頼していましたが、今回塗装設備を導入し内製化することで生産リードタイムの短縮や生産性の向上を図ることができました。

会社概況

（平成27年9月30日現在）

商号 三相電機株式会社
設立 昭和32年10月11日
資本金 8億7,160万円
従業員数 552名（連結）
事業内容 小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

株式の状況

（平成27年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数	36,000,000株
発行済株式の総数	9,143,200株
株主数	533名
1単元の株式の数	1,000株

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063

（郵便物送付先）

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） (0120)782-031
（URL） <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法

当社のホームページに掲載いたします。
<http://www.sanso-elec.co.jp/japanese/koukoku>

上場証券取引所

株式会社東京証券取引所

この報告書は、当社第59期中間の状況をお知らせするものであり、株主総会の招集や配当金のお支払いをお知らせするものではありませんので、ご了承願います。

株主のみなさまへ

第59期中間

株主通信

平成27年4月1日～平成27年9月30日



代表取締役社長 黒田直樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2015年度（2015年4月1日から2015年9月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらないご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月

 三相電機株式会社

証券コード 6518

営業の概況

業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善による設備投資の持ち直しや雇用情勢の改善などにより、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、個人消費は、消費者マインドに足踏みが見られ、海外では米国の利上げ観測の影響や中国経済の減速懸念、原油価格の下落など、わが国の景気下振れリスクは解消されておらず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおいて、中国市場では空調設備の需要の伸びが鈍化したものの、日本市場では民間の設備投資が底堅く推移したことで、半導体製造装置用ポンプや工作機械装置用モータなどで受注が増加いたしました。利益面においては、円安による輸入材の高騰がコストを押し上げる要因となり、引き続き厳しい経営環境が続くこととなりました。

このような事業環境の中、お客様の要望にきめ細かく対応することで顧客満足度の向上を図るとともに、新規受注に向けた営業活動を推進してまいりました。具体的には、新製品である高効率モータでは販売価格を見直したうえで価格交渉を行い、量産移行を進めました。また、部品加工工程の一部を内製化し、付加価値向上や生産リードタイムの短縮を図るなど、生産性の向上や原価低減を進め業績向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高

は65億60百万円（前年同期比96.1%）となり、営業利益は2億82百万円（前年同期比122.7%）、経常利益は3億28百万円（前年同期比118.3%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億14百万円（前年同期比125.6%）となりました。

今後の取り組み

今後の業績の見通しとして、雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府の各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復に向かうことが期待される一方、海外では新興国などの景気が下振れし、先行きは依然として楽観視できない状況で推移するものと考えられます。

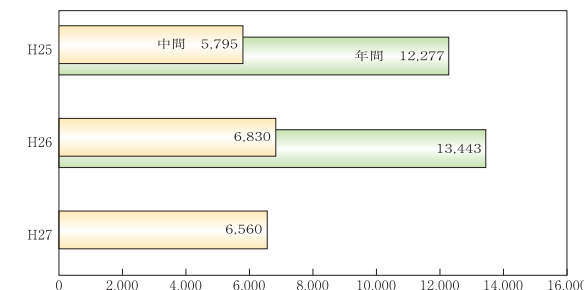
当社グループにおいて、海外では中国市場の落ち込みが懸念される一方で、国内では個人消費や企業の設備投資が堅調に推移することが考えられます。

このような経営環境の中、低消費電力で他社より優位性のある高効率モータやDCポンプの拡販を行うとともに、システム商品の開発を行い新規市場の開拓を進めてまいります。また、生産工程の再編や原価低減を進め、業績改善に努めてまいります。

連結業績の概要

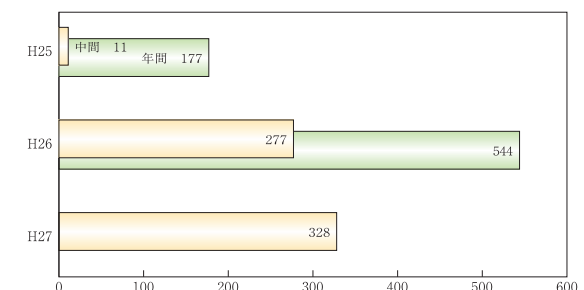
売上高

（単位：百万円）



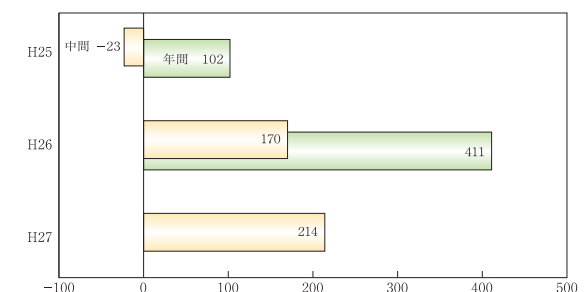
経常利益

（単位：百万円）



当期純利益

（単位：百万円）



要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	（平成27年9月30日現在）
資産の部	
流動資産	9,681
固定資産	4,223
有形固定資産	3,494
無形固定資産	91
投資その他の資産	637
資産合計	13,904
負債の部	
流動負債	4,496
固定負債	2,786
負債合計	7,282
純資産の部	
株主資本	6,254
資本金	871
資本剰余金	1,825
利益剰余金	3,597
自己株式	△40
その他の包括利益累計額	368
純資産合計	6,622
負債純資産合計	13,904

要約連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	6,560
売上原価	5,390
売上総利益	1,169
販売費及び一般管理費	886
営業利益	282
営業外収益	71
営業外費用	26
経常利益	328
特別利益	0
特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	327
法人税、住民税及び事業税	92
法人税等調整額	20
四半期純利益	214